

都市再生整備計画

にっしん えきしゅうへん
日進駅周辺地区(2期)

【第2回変更】

さいたま
埼玉県 さいたま市

令和元年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	日進駅周辺地区(2期)	面積	33.8 ha
-------	-----	------	-------	-----	-------------	----	---------

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標 大目標:安全で良好な住環境と利便性が高い地域生活拠点の形成 小目標1 駅前広場等の整備による、日進駅の交通結節機能の向上 小目標2 歩行者空間確保による、七夕通りの活性化 小目標3 都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>・本地区は、さいたま市北区に位置し、地区内に日進駅を含むJR川越線が横断しており、駅南側の商業・住宅が混在した地域(日進駅南地区)と駅北側の戸建住宅を中心とした地域(日進駅北地区)の2地域で構成されている。</p> <p>・駅周辺では平成5年度に「日進駅北口開設と北地区の街づくりを考える会」、平成8年度に「日進駅南地区まちづくり協議会」が発足した。ワークショップ等を通して、平成13年には南北合同で「JR日進駅の橋上化と駅前広場の整備」、「日進商店街の活性化」、「居住環境整備と人にやさしいまちづくり」を目標として示すなどの活動実績がある。平成16年2月をもって南北の協議会が合併している。</p> <p>・平成15年10月に日進工業専用地区の工場機能が事実上終了し、平成21年2月に跡地を利用した日進東土地区画整理事業(法人3社個人施行)が完了した。また、平成22年度に日進駅橋上化工事、南北駅前広場・北口へのアクセス道路が完成した。</p> <p>・北口の近年のまちづくり動向としては、平成19年度「北地区まちづくり方針の提案」から市道の一方通行化や道路幅員拡幅計画を含む平成22年度「北地区まちづくりのルール決定」に至る一連の活動を行い、さらに平成24年度、25年度と北地区検討部会により狭隘道路等整備の検討が進んできた。</p> <p>・南口では地元住民からの整備の要望がなされ、平成24年度・25年度に七夕通り美装化検討部会による検討が進み、七夕通りの電線類地下埋設・景観整備や南口駅前広場等のあり方の方向性を検討してきた。</p> <p>・良好な住環境や景観を保全し、住居系用途地域における中低層市街地の形成を誘導するため、平成25年8月に日進駅周辺の一部において高さ15m、20mの高度地区が指定されている。</p>

課題 <p>・日進駅は、駅南側広場が小規模であるため、人、自転車、タクシー等の錯綜が発生しやすいなど、交通結節機能が弱い。</p> <p>・日進駅南口駅前には、住民の交流に使用できるオープンスペースが不足している。</p> <p>・複数の大規模店舗が七夕通りから離れた場所に立地し、また七夕通りにおいて店舗数が減少傾向にあるなど、商業の集客力が低下している。</p> <p>・七夕通りの電線・電柱が景観及び歩行環境を阻害している。</p> <p>・市道30790号線の一部区間に道路側溝が無く、排水不良である。</p> <p>・市道30790号線は通学路であるにも拘わらず、近年、車の通行量が増える傾向にあり、児童通学が危険になりつつある。</p> <p>・市道30790号線沿いに民間駐車場等大規模低利用地が存在し、将来的な土地利用転換によりさらに定住人口が増える可能性がある。</p>
--

将来ビジョン(中長期) <p>・『さいたま市総合振興計画』(平成26年6月策定)では、日進・宮原地区が本市の「副都心」として位置付けられ、「商業・業務機能と都市型住宅を併せ持った高次複合都市を目指す」としている。</p> <p>・『さいたま市都市計画マスタープラン』(平成26年4月改定)では、日進・宮原地区周辺を「副都心」として、日進駅周辺を「地域生活拠点」として位置付けている。目標像として「日進・宮原駅周辺地区と北部拠点宮原地区の連携を図り、多様なサービスを提供する副都心の形成を目指す」としている。また、分野別の方針として、土地利用の方針では、日進駅周辺を「生活商業地」、その周囲を「都市型住宅地」として位置付けており、交通体系の方針では、「便利で快適な公共交通の充実」「誰もが移動しやすい都市空間の確保」などを掲げている。また、区別まちづくりの方針では「身近な生活の利便性を向上させ、誰もが安全に安心して暮らせる良好な住環境の形成を目指す」をまちづくりの基本的な考え方としている。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
七夕通り歩行者自転車交通量	人/日	七夕通りの駅前広場側の起点における、歩行者自転車交通量。平日12時間(朝7時~夕7時)双方向交通量(歩行者、自転車、車椅子・シルバーカー合計)	小目標2の「七夕通りの活性化」が得られることを示す指標	7,590	H23	7,940	R2
歩行者通行環境改善満足度	%	日進駅南口駅前広場、七夕通り及び関連する市道整備による歩行者通行環境に関する満足度調査において、満足・概ね満足と答えた回答者の割合	小目標1「日進駅の交通結節機能の向上」、小目標3「都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成」が得られることを示す指標	-	H26	50%	R2
七夕祭りの入り込み客数	人	七夕通りにおいて実施される日進七夕祭りの入り込み客数(2日間合計)	小目標2の「七夕通りの活性化」が得られることを示す指標	147,000	H21~26平均	158,000	R2

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(駅前広場等の整備による、日進駅の交通結節機能の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南口駅前広場の整備により、歩行者、自転車、タクシー等の交通結節機能を向上する。 ・駅前広場の一部について、祭事の際の一時的多目的広場の機能を持たせることにより、地域の交流スペースの確保を図る。 	<p>[基幹事業] 道路事業 日進駅南口駅前広場 [提案事業] — [関連事業] 道路事業(市道30225号線)</p>
<p>(歩行者空間確保による、七夕通りの活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕通りの一方通行化とともに、無電柱化、歩行空間整備等の美装化により、七夕通りの活性化を図る。 	<p>[基幹事業] 高質空間形成施設 七夕通り美装化 [提案事業] — [関連事業] 道路事業(七夕通り電線共同溝)</p>
<p>(都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道30790号線を拡幅し片側2mの歩道確保により、通学児童等の安全を確保する。 ・七夕通りの無電柱化により、災害時における安全性の向上を図る。 	<p>[基幹事業] 高質空間形成施設 七夕通り美装化 [提案事業] — [関連事業] 道路事業(市道30790号線) 道路事業(七夕通り電線共同溝)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付期間中の計画管理及び実施要領 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付期間中、地域によるまちづくり組織と連携し、計画案や事業実施についての説明を行い、情報の共有を図りながら事業を展開していく。 	

都市再生整備計画の区域

日進駅周辺地区(2期)(埼玉県さいたま市)	面積	33.8 ha	区域	日進町2丁目の一部、日進町3丁目の一部
-----------------------	----	---------	----	---------------------



日進駅周辺地区(2期)(埼玉県さいたま市) 整備方針概要図

目標	大目標:安全で良好な住環境と利便性が高い地域生活拠点の形成	代表的な指標	七夕通り歩行者自転車交通量 (人/日)	7,590	(H23年度)	→	7,940	(R2年度)
	小目標1 駅前広場等の整備による、日進駅の交通結節機能の向上		歩行者通行環境改善満足度 (%)	-	(H26年度)	→	50	(R2年度)
	小目標2 歩行者空間確保による、七夕通りの活性化		七夕祭りの入り込み客数 (人)	147,000	(H21-26年度平均)	→	158,000	(R2年度)
	小目標3 都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成							

